

ウガ広報

From Uganda | To Japan | Ono Kenta Menya

皆さんこんにちは！平成27年度1次隊の理科教育で、アフリカのウガンダに派遣されている小野健太です。12月に入り、秋田ではもう雪が降っている頃でしょうか？ウガンダでは雨季も終わりにさしかかり、徐々に乾季へと移っています。人生初の雪のない12月を経験しています（笑）さて、ウガンダに来て5ヶ月、初めて授業を担当した学期も終わり、生活も落ち着いてきました。そこで今回は私の家や生活の様子についてお送りしたいと思います！

ウガ広報4号で紹介しましたが、私は配属先である「Kisiki College」の敷地内にあるゲストハウスで生活しています。右の写真が外観で、このゲストハウスの約1/3を私が使い、残りの部分は同僚の先生が家族と生活しています。住居が学校の中にあるため安全性の面では安心できますが、最初の頃は毎日先生・生徒から監視されているみたいで落ち着きませんでした... 写真右側に見えるのはマンゴーの木で、最近少しずつ実が大きくなってきています！



家の正面から撮った写真です。

右側2/3と奥行き半分の範囲が私の居住区域です！



左の図が、家の見取り図になります。真ん中上側にあるドアは奥の同僚の先生側へと繋がっています。寝室が2つあったので、一つを寝室として、もう片方を荷物置き場として使用しています。両寝室ベッドと蚊帳は設置されており、来訪者があった際には宿泊可能ですので、ウガンダに来てナムトゥンバに寄る際は歓迎いたします！（笑）では実際にどのような生活しているのか見てみましょう！

生活の様子

机と本棚



普段作業に使っている机です。停電が多いこともあり、常に机の上にはロウソクが置いてあります。写真には写っていませんが、上の方にフックを設置しており、停電時にはそこに灯油ランプを吊るして光源にしています。学校が終わってから作業も多いので、こうした停電対策をしておかないと、夜中に何もできなくなってしまう！本棚はこちらに来てから大工さんに作ってもらい、教科書や資料の管理に使っています。

調理器具 ～火の元～

ウガンダにおいてガスは都市部でしか使われておりません。私の地域では専ら「炭」や写真のような「ケロシンストーブ」が使われております。こちらは灯油が燃料の大型アルコールランプとだけ思っただけであればいいです。灯油は町のガソリンスタンドで購入可能で、左にあるような適当なボトルを持参して入れてもらいます。調理には右の「ソースパン」と呼ばれる鉄鍋が一般的で、これで炊飯から調理まで全部やってしまいます！



寝室の様子



ウガンダはマラリアの流行地域でもあるので、蚊帳の設置は必須になっています。また、ベッドが木枠であることから、虫が住み着いてしまうこともあるため、定期的にチェック・虫除けスプレーの散布なども必要となってきます。寝具は町で買えるのですが、サイズはほぼ画一で、身長170cmの自分が寝ると結構ギリギリのサイズです。身長180cm以上あるウガンダ人も見かけるのですが、彼らは縮こまって寝てるのだろうか...?

ウガンダの生活は日本と勝手が違うことが多く、最初は戸惑うことが多かったのですが、今では好みの硬さに炊飯できるようになったりと、ウガンダに馴染んできたと思います！雨季も終わりにさしかかり、収穫の時期。畑で採れた大根を漬物と大根おろしにして同僚に振舞ってみました。賛否両論でした。（大根はウガンダには無いようです）日本料理には興味があるようなので、また何か作ってみたいと思います！

平成27年度1次隊 理科教育 小野健太